



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

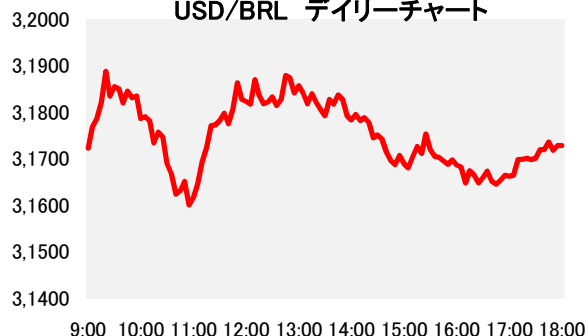
			8月2日	8月3日	8月4日	8月5日	8月8日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2590	3.2380	3.1930	3.1650	3.1720	+0.0070
	BRL/JPY	Spot	30.96	31.25	31.70	32.17	32.28	+0.11
	EUR/USD	Spot	1.1224	1.1150	1.1128	1.1086	1.1085	-0.0001
	USD/JPY	Spot	100.89	101.21	101.22	101.82	102.42	+0.60
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.904	13.905	13.892	13.860	13.862	+0.002
	Future	1Year(p.a.)	13.280	13.278	13.198	13.186	13.190	+0.004
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.084	2.101	1.944	2.114	2.319	+0.205
	USD	1Year(p.a.)	2.343	2.310	2.210	2.290	2.455	+0.165
株式	Bovespa指数		56162	57077	57594	57661	57635	-26
CDS	CDS Brazil 5y		292.58	285.81	279.43	268.40	270.60	+2.20
商品	CRB指数		177.317	179.789	181.346	181.799	182.795	+1.00

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

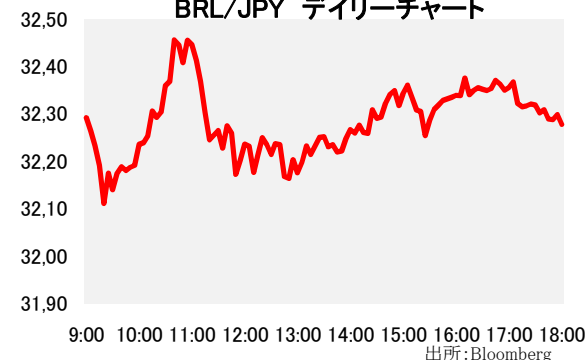
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.40%	0.46%	0.37%
FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	-0.18%	-0.39%	1.63%
FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	11.46%	11.23%	12.32%
貿易収支(週次)	--	\$637m	\$727m

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

テメル伯暫定大統領	上院における大統領弾劾最終採決では、(可決に必要な41票に対し)少なくとも58票は弾劾賛成に投票されるだろう。
-----------	---

4. トピックス

- 本日のレアルは3.1640で寄り付いた。朝方は伯中銀のドル買い介入を受けて日中安値となる3.1890を示現した。OPECから9月に非公式会合が開催されることが発表され、需給バランス調整への期待感が高まると、原油価格が上昇。レアルは日中高値となる3.1600まで買い戻された。しかし、テメル暫定大統領が不正献金に関与したとの報道を受けボエスパ指数が軟調推移すると、レアルも3.18台後半まで反落した。その後は材料難から3.16台から3.18台でのレンジ内取引に終始し、結局3.1720でクローズした。
- 伯中銀公表のアナリスト予想調査では、2016年の経済成長率予想が▲3.24%から▲3.23%に小幅上方修正された。2016年のインフレ率予想は7.21%から7.20%へ、2017年予想は5.20%から5.14%に下方修正された。
- 地元誌の雑誌報道で、大手建設会社の元CEOが検察当局との司法取引で、テメル暫定大統領が2014年に10百万レアルの不正選挙献金に関与したことを明らかにしたと報じられた。新政権への期待感が後退し、ボエスパ指数は反落した。
- 伯中銀は5億ドルのドル買いスワップ入札を実施し、全額が落札された。中銀は明日も同額の介入を実施すると発表した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。